

ボイスドラマ

冬の君に言いたいこと



〈登場人物〉

柊 誠（ひいらぎまこと） 17歳

母の手一つで育てられてきており、将来の夢は、良い就職をして、母に楽をさせること。おとなしめな性格で、何かに対する依存度が高め。黒髪で、少し目元が隠れている。

月見真冬（つきみまふゆ） 16歳

転校生。活発な性格で、好奇心旺盛。人の気持ちに敏感で、誰かを喜ばせることが大好き。雪のような白い長髪をしている（本人曰く白髪ではなくプラチナクリア）。いなくなった真白に似ている。

青木 功（あおきこう） 17歳

誠と同じクラスで、小学生の時から友人。いなくなった真白とも仲が良かった。ムードメーカーで、頭の回転が速い。髪型は、明るめの黒髪ショート。

神崎優子（かんざきゆうこ） 17歳

誠や真冬とは隣のクラスに在籍している。誠や功とは中学生の頃からの知り合い。肩ぐらいまでの茶髪で、腕にはいつも同じシュシュを付けている、

音海真白（おとみましろ） 16歳

誠の幼馴染。3年前にいなくなった。転校してきた真冬に似ている。

BGM①

雪の中、誠に語り掛ける記憶の中の真白。

BGM① out

ホームルームを聞いている誠。

ドアを開け、クラスに入ってきた真冬。それをみ驚く誠。

BGM①フェード

out

シーン1 〈記憶〉

真白 誠君。実は私、サンタクローズなんだ。

誠 そう言つて、幼馴染、音海真白は消えた。中学二年生の冬のことだった。それからの学校生活は、なんとも味気が無くて、質素だった。僕は、まるで夢から醒めたように、あっという間に高校生になった。

誠 高校二年生になった僕は、中学の時の友達の青木君と、同じクラスになった。これで少しはマシな高校生活になると思っていた。そんな時だった。

ドアを開けるSE

真冬 転校生の月見真冬です。よろしく願います。

誠 そこには、かつての幼馴染とそっくりな女の子がいた。

BGM②

全員 タイトルコール

誠 柗誠。(自分の名前)。

真冬 月見真冬。(自分の名前)。

功 青木功。(自分の名前)。

神崎 神崎優子(自分の名前)。

BGM② out

シーン1 終

窓側の席の誠と功。
外を見て、功が前の席
の誠に話しかける。

教室の真ん中後ろ側
の席にいる真白を呼
ぶ功。

返事をし、お弁当箱を
持って、誠の隣の空い
ている席を勝手に使
う真冬。

シーン2 〈友人〉

功 おー、雪だ。見ろよ誠。本当に降ってきたぜ。

誠 本当だ。予報は当たったね。

功 外で弁当食べれないな。中で食べようぜ。

誠 そうだね。じゃあ…

功 わかってるよ。真冬ちゃん！一緒に食おうぜー！

真冬 いいよ！（机を引いてくる）二人も今日は教室？雪だもんね。

功 そう。だから誠が真冬ちゃんもって。

誠 え！？言ってるじゃないよ！

真冬 ごめん、嫌だった？

誠 あ、そうじゃなくて…

神崎 ちょっと、真冬取らないですよ。

いつの間にか隣のクラスから来ていた神崎。功の隣の席を勝手に使い、真冬の向かいに座る。

真冬 優子も呼ぼうと思ってたの！ほら、こっち座ろ！（椅子を引く）

神崎 私は真冬と二人がいいんだけどねー

功 まあまあ、雪降ってるしさ。

神崎 何それ。

誠 ごめんね神崎さん。迷惑じゃなければ。

神崎 まあ、別にいいけど。

功 雪降ってるし？

神崎 それは関係ない。

真冬 じゃあ、手と手を合わせて…

全員 いただきます！

功 でもさー、本当に驚いたよな。真冬ちゃんが来たときは。

真冬 またその話？

BGM③ out

転換 SE

BGM④

お昼ご飯を終え、話している4人。

功 だって、真白ちゃんにそっくりだったし。

神崎 私もびっくりした。正直似すぎ。てかやっぱり同一人物なんじゃないの？

真冬 私は月見真冬ですー

誠 でも、声も喋り方も、本当に同じだもんね。

神崎 え、そんなことまで覚えてんの？

功 さすが幼馴染。

誠 う、うん。

真冬 誠君はその子と仲良かったんだ？

神崎 仲いいっていうか…ねえ？

功 なあ？

誠 やめよう！この話は！ね！

神崎 あ、そういやさ、この映画見てない人いない？

功 なに？どれ？

チケットを取り出す神崎。

チケットを真冬に渡す神崎。

神崎 これ。「記憶の中の恋人」っていうやつ。少女漫画原作。

功 専門外。

誠 僕も…

真冬 私も…

神崎 だよー。推しのアイドルが主役なんだけども、明日も雪予報じゃん？
行くのめんどくて。

誠 明日のチケットなの？

神崎 そ。上映の宣伝イベントで買ったやつなんだけど、私もうゝ回観たし、
明日行きたくないのよね。誰かあげる。

功 男は興味無さそうだしな…真冬ちゃんもらったら？

真冬 本当にいいの？

神崎 全然いいよ。はい。

真冬 おお…とりあえず観てみようかな。

席を立つ神崎。

自分の席に戻る真冬。

真冬に聞こえないぐらいの
声で話す功。

神崎 行くなら気を付けて行つといで。観たら後で感想聞かせて。

あ、でも無理に行かなくていいからね。

真冬 わかった！ありがとう！

神崎 じゃあそろそろクラス戻るわ。今日一緒に帰る。

真冬 うん、そっち行くね！

誠 またね神崎さん。

功 おつー。

真冬 私も席戻るね！

誠 うん。

功 おつー…なあ、チャンスじゃん。

誠 何が？

功 真冬ちゃんと一緒に映画行つて来いよ。

誠 え！？なんで！？

功 なんでもなにもないだろ！真冬ちゃんと仲良くなりたくねーのか？

誠 それは…仲良くはなりたいたいけどさ…

功 だったらチャンスだろ！これにかこつけて映画デートしてこい！

誠 中学の時はよく二人で出かけてたろ？

功 あれは真白であって、真冬ちゃんではないし…

誠 顔も声もそっくりな相手と仲良くできない道理はないぜ！男見せろ！

功 考えとく…

誠 まあ考えるまでもないと思うけどな。

功 え？

功 なんでもなーい。

シーン2 終